



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス  
コード番号 6419 URL <https://www.mars-ghd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 丈治 TEL 03-3352-8555  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,764	27.0	10,603	15.5	11,301	14.9	7,198	7.0
2024年3月期第3四半期	27,378	99.0	9,181	268.5	9,834	228.1	6,725	200.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 7,535百万円 (△12.7%) 2024年3月期第3四半期 8,628百万円 (171.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	393.75	—
2024年3月期第3四半期	395.68	393.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	86,255	76,807	89.0	4,164.35
2024年3月期	83,956	71,254	84.9	3,975.65

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 76,807百万円 2024年3月期 71,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2025年3月期	—	120.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	75.00	195.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,800	14.3	12,200	4.3	13,100	4.8	8,200	△4.5	447.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	22,720,000株	2024年3月期	22,720,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,275,815株	2024年3月期	4,800,290株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	18,281,595株	2024年3月期3Q	16,998,516株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化に伴う雇用・所得環境の改善や政府の各種政策を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。その一方で、アメリカの政策動向、ロシア・ウクライナ問題、中東情勢等の地政学的リスクに加え、円安進行による原材料価格の高騰や物価上昇等、企業活動や個人消費に与える影響が懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、スマートソリューション関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高347億64百万円（前年同期比27.0%増）、営業利益106億3百万円（同15.5%増）、経常利益113億1百万円（同14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益71億98百万円（同7.0%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

#### [アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主要販売先であるパチンコ業界は、遊技人口の減少や設備投資の負担増加により、閉店や廃業が相次いでおり、業界全体を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。そのような中、昨年7月に実施された新紙幣改刷への対応に伴い、パチンコホールにおける周辺設備の更新が積極的に進められました。特にスロット市場では、スマートパチスロの導入が好調に推移しており、多くのパチンコホールがスロットの増台に注力しました。一方、パチンコ市場は依然として低迷しているものの、新たな基準に対応した遊技機の導入が始まったことから、スマートパチンコを中心とした今後の市場拡大が期待されています。

このような市場環境の中、当社グループは、昨年7月に全国主要都市にて5年ぶりとなる「2024マース新製品発表展示会」を開催し、新製品『EVOALL（エヴォール）シリーズ』を発表いたしました。本シリーズは、利便性・効率化・省力化を徹底追求し、売上・利益の最大化を図る唯一無二のトータルソリューションです。改造不要で左右どちらの設置にも対応可能な『エヴォールスマートユニット』、店長業務の大幅な効率化とサポートを実現する『エヴォールクラウド』、景品交換から精算までをその場で完結させる『エヴォールスマートセルフ交換機』等、次世代のパチンコホール運営を支援する画期的な製品群を提供いたします。今後は、新製品を中心にトータルシステムの販売拡大を進め、さらなる収益向上に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるプリペイドカードシステム（パーソナルやスマート遊技機専用ユニットを含む）の売上実績は55店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,423店舗（市場シェア23.7%）となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、287億94百万円（前年同期比32.8%増）、セグメント利益は104億36百万円（同15.5%増）となりました。

#### [スマートソリューション関連事業]

スマートソリューション関連事業は、AI、ロボット、高度なデータ処理等の技術やRFIDの活用により、現在のシステムと情報システムを融合し、作業の効率化や人材不足といった社会的課題を解決する製品やサービスを生み出し続けていくことを使命としております。

主要販売先となる自動認識システム業界は、バーコードやRFIDを活用して製品の追跡や在庫管理の効率化を図ることができるため、小売業や製造業など幅広い分野で活用されており、今後も新技術の導入や用途の拡大等、市場の更なる成長が期待されております。

このような状況の中、当社子会社の株式会社マーストーケンソリューションでは、主要販売先である製造・物流・医療分野を中心に、AIやIoT技術を活用した製品やソリューションの開発・販売に取り組んでまいりました。昨年リリースした「VisAI（ビズアイ）」シリーズは、従来目視や手作業で行われていた業務を省人化・半自動化し、作業精度の向上と業務効率化を実現するAI画像認識システムです。今後も新製品の開発・販売拡大を通じて、お客様や社会に貢献するソリューションの提供に注力してまいります。

当社子会社の株式会社マースウインテックでは、IoT冷蔵物販自販機や無人チェックイン端末等、省人化・無人化を実現するシステム「Infinity Station」シリーズを開発・販売してまいりました。

この結果、スマートソリューション関連事業の売上高は、39億94百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は3億42百万円（同0.2%減）となりました。

## [ホテル・レストラン関連事業]

ホテル業界ならびに外食業界は、国内観光や外食需要の増加に加え、円安によるインバウンド需要の拡大を背景に、回復基調で推移しました。しかしながら、慢性的な人手不足に伴う人件費の増加や原材料価格の高騰等、運営コストの上昇が企業収益に影響を及ぼしております。また、オーバーツーリズムなどの課題も深刻化しており、これらへの対応が今後の重要な課題となっております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」では、お客様に寄り添った最高のホスピタリティの提供、マースガーデンクラブ会員獲得の強化やSNSを活用したマーケティング戦略を実施し、ロイヤルカスタマーの獲得に注力してまいりました。また、ダイナミックプライシングを活用した価格戦略を展開し、収益の向上に取り組むとともに、アップセルやクロスセルを通じた客単価の向上にも取り組んでまいりました。さらには、旅行代理店に対する営業活動を進め、集客に向けた販路の強化に努めてまいりました。

レストラン事業では、東京銀座エリアの「銀明翠GINZA」及び「銀座松月」を中心に周年記念特別プランや季節限定プランの提供を行い、アップセルを積極的に推進いたしました。また、質の高いおもてなしと料理を通じて、ブランド力の向上に努めてまいりました。

この結果、ホテル・レストラン関連事業の売上高は、19億76百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は92百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は862億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億98百万円増加いたしました。

流動資産は511億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億23百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が26億75百万円増加し320億29百万円となりました。

固定資産は350億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億75百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、建物及び構築物（純額）が8億43百万円増加し59億21百万円となりました。

流動負債は68億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億8百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が25億12百万円減少し11億55百万円、支払手形及び買掛金が15億39百万円減少し27億98百万円となりました。

固定負債は26億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億53百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、繰延税金負債が1億91百万円増加し10億50百万円、リース債務が77百万円増加し3億65百万円となりました。

純資産は768億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して55億53百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が33億71百万円増加し614億74百万円、自己株式が10億70百万円減少し△85億13百万円、資本剰余金が7億86百万円増加し102億86百万円となりました。

自己資本比率は89.0%となり、前連結会計年度末と比較して4.1ポイント増加いたしました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は320億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億75百万円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は70億32百万円の収入（前年同四半期は42億27百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益105億72百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は13億59百万円の支出（前年同四半期は15億26百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7億54百万円、投資有価証券の取得による支出4億88百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は30億9百万円の支出（前年同四半期は8億53百万円の収入）となりました。主な要因は、配当金の支払額37億61百万円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,353,869	32,029,668
受取手形及び売掛金	6,002,812	5,859,148
リース債権及びリース投資資産	420,918	371,320
有価証券	350,035	350,490
商品及び製品	5,051,742	4,925,002
仕掛品	326,269	418,121
原材料及び貯蔵品	6,230,298	4,376,827
その他	1,570,216	2,913,215
貸倒引当金	△57,271	△71,601
流動資産合計	49,248,890	51,172,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,077,238	5,921,109
土地	10,007,470	10,007,628
その他（純額）	1,003,762	361,038
有形固定資産合計	16,088,471	16,289,777
無形固定資産		
投資その他の資産	323,054	403,001
投資有価証券	16,600,901	16,081,501
退職給付に係る資産	49,974	67,234
その他	2,104,738	2,447,404
貸倒引当金	△459,126	△205,454
投資その他の資産合計	18,296,486	18,390,685
固定資産合計	34,708,012	35,083,464
資産合計	83,956,902	86,255,658
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,338,627	2,798,744
リース債務	240,783	181,001
未払法人税等	3,667,889	1,155,566
賞与引当金	431,123	234,338
その他	1,648,862	2,448,869
流動負債合計	10,327,285	6,818,519
固定負債		
リース債務	288,543	365,833
役員退職慰労引当金	195,480	176,860
資産除去債務	61,914	62,268
その他	1,829,642	2,024,179
固定負債合計	2,375,580	2,629,142
負債合計	12,702,865	9,447,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	9,500,829	10,286,972
利益剰余金	58,102,153	61,474,013
自己株式	△9,584,281	△8,513,509
株主資本合計	65,952,801	71,181,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,926,520	5,274,407
退職給付に係る調整累計額	363,216	352,013
その他の包括利益累計額合計	5,289,737	5,626,420
新株予約権	11,497	-
純資産合計	71,254,036	76,807,996
負債純資産合計	83,956,902	86,255,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,378,632	34,764,429
売上原価	12,280,674	17,791,198
売上総利益	15,097,957	16,973,230
販売費及び一般管理費	5,916,781	6,369,346
営業利益	9,181,176	10,603,883
営業外収益		
受取配当金	559,285	646,841
その他	93,595	50,917
営業外収益合計	652,881	697,759
経常利益	9,834,057	11,301,643
特別利益		
投資有価証券売却益	81,267	249,949
特別利益合計	81,267	249,949
特別損失		
投資有価証券評価損	—	975,067
役員退職慰労金	17,100	4,440
特別損失合計	17,100	979,507
税金等調整前四半期純利益	9,898,225	10,572,084
法人税、住民税及び事業税	3,337,094	3,122,939
法人税等調整額	△164,793	250,804
法人税等合計	3,172,301	3,373,744
四半期純利益	6,725,923	7,198,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,725,923	7,198,340

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	6,725,923	7,198,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,870,904	347,886
退職給付に係る調整額	31,946	△11,203
その他の包括利益合計	1,902,851	336,682
四半期包括利益	8,628,774	7,535,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,628,774	7,535,023

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,898,225	10,572,084
減価償却費	446,269	526,959
引当金の増減額 (△は減少)	△157,209	△454,748
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△17,260
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,580	—
受取利息及び受取配当金	△559,505	△647,592
投資事業組合運用損益 (△は益)	△17,757	△2,118
投資有価証券売却損益 (△は益)	△81,267	△249,949
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	975,067
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,922,436	143,664
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	51,382	15,535
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,288,277	1,888,358
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△58,545	△388,392
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,274,863	△1,539,883
リース債務の増減額 (△は減少)	△70,382	17,508
その他	832,749	1,021,056
小計	5,362,688	11,860,291
利息及び配当金の受取額	559,505	647,592
法人税等の支払額	△1,694,506	△5,475,100
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,227,687</b>	<b>7,032,783</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,036,601	△754,403
投資有価証券の取得による支出	△967,174	△488,206
投資有価証券の売却による収入	414,815	56,872
その他	62,864	△174,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,526,095</b>	<b>△1,359,750</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△113	△82
自己株式の売却による収入	2,428,227	760,898
配当金の支払額	△1,597,315	△3,761,437
新株予約権の発行による収入	23,125	—
その他	—	△9,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>853,923</b>	<b>△3,009,871</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,175	12,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,570,691	2,675,799
現金及び現金同等物の期首残高	22,700,571	29,353,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,271,262	32,029,668

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	21,688,438	4,005,035	1,685,157	27,378,632	—	27,378,632
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	432,182	52,757	24,518	509,458	△509,458	—
計	22,120,621	4,057,793	1,709,675	27,888,090	△509,458	27,378,632
セグメント 利益又は損失 (△)	9,038,603	343,502	△33,349	9,348,755	△167,579	9,181,176

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△167,579千円には、セグメント間取引消去10,599千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△178,178千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	スマート ソリューション 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	28,794,050	3,994,364	1,976,013	34,764,429	—	34,764,429
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	333,169	100,772	34,860	468,802	△468,802	—
計	29,127,219	4,095,137	2,010,874	35,233,231	△468,802	34,764,429
セグメント利益	10,436,460	342,787	92,745	10,871,993	△268,109	10,603,883

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,109千円には、セグメント間取引消去10,462千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△278,571千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「アミューズメント関連事業」セグメントの定義の見直しを行った結果、「アミューズメント関連事業」セグメントに含まれていた株式会社マースウインテックの事業の一部を「自動認識システム関連事業」セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

それに伴い、報告セグメントの名称を「自動認識システム関連事業」から「スマートソリューション関連事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。